

# 令和4年度版 【タブレット活用の目標】

	各学年のタブレットを活用した具体的な目標 ※学年の児童数80%が達成						
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
メディアの種類	タブレットの基本的な操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットを起動し、ID・パスワードを入力することができる。</li> <li>・マウスやタッチ機能を使い、クリックやダブルクリック・スクロールを行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラを起動させ、写真を撮ることができる。</li> <li>・端末内に、<b>作成した資料等を保存</b>することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の指示のもと、<b>必要な機能やアプリを起動し、操作</b>することができる。</li> <li>・端末内にある<b>データを引き出し</b>、活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた機能やアプリを<b>起動し、活用</b>することができる。</li> <li>・<b>作成した資料等を適切な名前で保存</b>することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた<b>機能やアプリを組み合わせながら操作・活用</b>することができる。</li> <li>・<b>データ等を適切に整理し、必要に応じた項目ごとにまとめる</b>ことができる。</li> </ul>	
	Teams・office365の操作・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、<b>Teamsを開く</b>ことができる。</li> <li>・Teamsで教師からのメッセージに対して、<b>簡単な返信</b>ができる。</li> <li>・Teamsの会議に参加・退室ができる。</li> <li>・Formsのアンケート等に回答することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Teamsで教師からのメッセージに対して、<b>簡単な返信</b>ができる。</li> <li>・Teamsに配信された資料等を、<b>閲覧</b>することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、<b>Teamsでメッセージのやり取り</b>を行うことができる。</li> <li>・Teamsに配信された資料等を、<b>閲覧</b>することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タグ付け機能を理解し、<b>対象者</b>に向けて<b>メッセージの配信</b>を行うことができる。</li> <li>・収集した画像や作成した資料等を、Teamsに<b>配信</b>することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・office365を活用し、<b>文書の作成</b>や<b>プレゼン</b>などを行うことができる。</li> <li>・Teamsを使い、課題に提出を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・office365を活用し、アンケートの作成や、文書等の共同編集を行うことができる。</li> <li>・Teamsを使い、課題の提出を<b>適切に行</b>うことができる。</li> </ul>
	SKYMENUcloudの操作・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、<b>アプリを開く</b>ことができる。</li> <li>・教師からの出題に対し、<b>手書き</b>で解答することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師からの出題に<b>解答</b>し、<b>提出</b>を行うことができる。</li> <li>・<b>アプリ</b>でカメラを起動し、発表ノート等に貼り付けを行うことができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師からの出題に、<b>適切な文字入力</b>を行い、<b>提出</b>することができる。</li> <li>・写真等のデータを<b>適切に処理・加工</b>(トリミングなど)を行い、活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の指示のもと、<b>アプリ内の機能を活用</b>することができる。</li> <li>・<b>ポジショニング</b>機能で、<b>自らの意見</b>に<b>コメント</b>を入力することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・画像等の資料を、<b>アプリ内に取り込み</b>、活用することができる。</li> <li>・<b>グループの指定</b>を適切に行い、他者と情報を共有しながら、学習を進めることができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のメディアで作成した資料等を、<b>アプリ内で活用</b>することができます。</li> <li>・<b>アプリ内の資料等を適切に整理し、まとめ</b>ることができます。</li> </ul>
	文字入力の技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の機能を使って、文字の入力ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の機能やキーボードの<b>かな入力</b>で、文字を入力することができる。 (1分間で10文字程度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の機能やキーボードの<b>ローマ字入力</b>で、文字を入力することができる。 (1分間で10文字程度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末の機能やキーボードの<b>ローマ字入力</b>で、文字を入力することができる。 (1分間で20文字程度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両手の<b>ポジショニング</b>を意識し、キーボードを使って文字を入力することができる。 (1分間で20文字以上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両手の<b>ポジショニング</b>を意識し、キーボードを使って文字を入力することができる。 (1分間で30文字以上)</li> </ul>